



丘珠空港周辺のまちづくりに関するワークショップを行いました

前号の空港ニュースで募集した、丘珠空港周辺のまちづくりに関するワークショップを、7月27日(土)、28日(日)、8月3日(土)に開催しました。全3回の開催で空港周辺の様々な地域から、計44名の市民の方にご参加いただき、空港ターミナルビルとHACの格納庫の見学を行ったのち、札幌市が作成した空港周辺のまちづくりに関する基本構想の素案について話し合いました。



今回のワークショップでいただいたご意見の一部をご紹介します。

- 航空機騒音調査の方法や結果について、広報やSNS等も活用してもっと情報発信すべき(騒音については、気にならない、気になる、家の造りや立地に寄る等、多様な意見があった)。
- 近年の他空港の事故事例を踏まえると、安全運航の確保は必須。
- 今後の増便、利用者増を見据えたターミナルビルの整備が必要(保安検査場の拡充、子どもが遊べる場所、飲食・物販の充実等)。
- 丘珠空港緑地は、防音、防風に効果がある。空港整備により緑地面積が減っても、機能は維持すべき。
- 空港周辺に賑わいを出すためには、商業施設の立地や企業誘致が必要。そのための土地活用の検討を。
- 大学生など若い世代も巻き込んで周辺を活性化して欲しい。
- 地下鉄栄町駅と空港間のアクセス改善が必要(バス便の充実やダイヤの周知等)。
- 駐車場の混雑緩和のため、立体化も含めた駐車場の拡大や駐車料金の工夫を。



丘珠空港周辺のまちづくりについて協議会で意見交換を行いました

丘珠空港周辺地域連絡協議会において、空港周辺のまちづくりに関する意見交換を継続しています。7月31日に開催した第4回協議会では、空港周辺の11連合町内会の皆さまに加え、北星学園大学の鈴木教授(都市計画学、交通計画学)をアドバイザーとしてお招きし、札幌市が提示した「札幌丘珠空港と周辺地域の共生に関する基本構想」の素案をベースに、空港を核としたまちづくりの目指す姿や取組の方向性(下図)について話し合いました。

目指す姿:「空港があって良かった」と感じられるまち

- ①環境への配慮
②安全運航の確保

- ⑤産業振興・機能集積



- ③空港ターミナルビルの機能拡充

- ④緑地機能の維持・向上
(丘珠空港緑地)

- ⑥空港への交通アクセス改善



協議会の様子

札幌市では、ワークショップや協議会等でいただいたご意見を踏まえ、丘珠空港周辺のまちづくりについて検討していきます。

構想の素案や協議会の結果については、市のホームページからご覧ください➡



丘珠空港へのアクセス性向上に向けた取組を行っています



丘珠空港臨時駐車場を 開設しました！

丘珠空港の利用者が急増したことに伴い、空港の駐車場が大変混雑しています。そのため、札幌市では空港から2.7kmの場所に、臨時の無料駐車場を期間限定で開設しました。

利用状況やご意見をふまえ、今後の駐車場のあり方について検討していきます。

開設期間：令和6年8月15日～10月14日

場 所：北区篠路町太平227-1

送 迎：9時～17時に無料送迎車運行



栄町駅－丘珠空港間連絡バス シャトル便を試験運行しました！

8月の1か月間、北都交通㈱の協力により夏期繁忙期の対策の一環として、栄町－丘珠空港間のバスの便数を拡大するため、シャトル便を試験的に運行しました。

乗車人数やアンケート調査の結果をふまえて、皆さまが利用しやすいバスの運行を考えていきます。



名古屋(小牧)便増便・新潟便毎日運航で丘珠空港がもっと便利になりました

これまで1日2往復の運航だった丘珠＝名古屋(小牧)便(運航：㈱フジドリームエアラインズ)が、7月1日から1日3往復の運航となりました。また、これまで週5日の運航だった丘珠＝新潟便(運航：トキエア㈱)が、7月12日から毎日運航となりました。

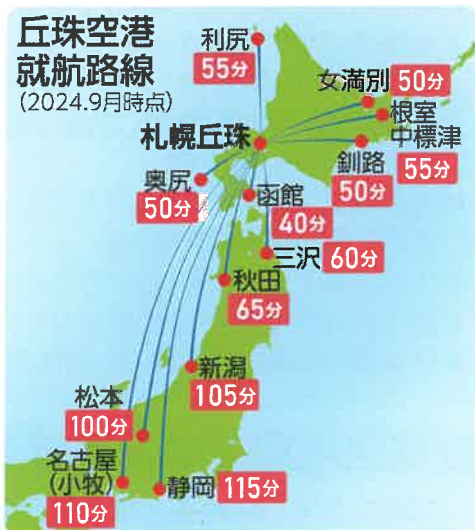
ますます便利になった丘珠空港をぜひご利用ください。



フジドリームエアラインズ



トキエア



丘珠空港緑地賑わい創出検証イベント・エアマルシェを開催しました

8月17・18日に、丘珠空港に隣接する「丘珠空港緑地」で、キッチンカーや就航地のお菓子販売、地域の採れたて野菜の詰め放題等、地域の賑わいづくりに向けたイベントを開催し、2日間合計で約1,500人の方にお越しいただきました。

会場で行った聞き取り調査では、イベントに好印象を持っていた方が非常に多く、定期的な開催を望む声もいただいています。こうしたご意見をふまえ、今後のイベント開催やさらなる地域の賑わいづくりに向けて検討していきます。

